

宮城県吹奏楽連盟に寄せられた義援金について

平成25年6月12日

宮城県吹奏楽連盟
会長 三塚 尚可

この度の大震災から早いもので2年3ヶ月が過ぎようとしています。この間、全国各地の吹奏楽関係者や子供たちの活動を心配してくださった多くの皆様から、全日本吹奏楽連盟を通して心温まるお励ましや義援金などを多数頂戴いたしました。誠に感謝の念に堪えません。まだ復興半ばではありますが、全国の皆様から寄せられました義援金の配分や使途につきまして現状をお知らせいたします。

1. 義援金受付口座開設の経緯について

23年3月11日の大震災以降、県内の加盟団体の多くは甚大な被害を被りました。本連盟の事務処理を行っている事務所もまた大きな被害を受け、連盟継続に重大な支障が発生しました。特にライフラインの寸断や停電の影響は大きく、全国各地から寄せられたお見舞いや義援金のお申し出に対して銀行やATMでの対応が迅速に行えない状況となりました。

そこで、東北吹奏楽連盟を通して全日本吹奏楽連盟の平松理事長や全日本事務局に「義援金受付口座の開設とその集計・管理」をお願いいたしました。この提案にすぐにご快諾をいただき、口座開設、そして全国の吹奏楽関係者が一番閲覧する「全日本吹奏楽連盟ホームページ」に「口座開設のお知らせ」を掲載していただいたことにより、多くの皆様に広くお伝えいただきました。早速3月30日には第1号の義援金の振り込みが口座にあったということです。また、寄付者の名簿や住所、金額などもスピーディにとりまとめていただきました。

2. 東北吹奏楽連盟第一回理事会（平成23年5月21日開催）での決定

本県の他に青森県、岩手県、福島県も大きな被害を受けましたので、例年4月に開催しておりました理事会開催を断念して、5月にようやく開催されました。

その会議の中で「全日本吹奏楽連盟に集めていただいている全国からの義援金について東北吹連は5：3：2の割合で被害の大きかった宮城県：岩手県：福島県に配分する」と決定されました。

3. 義援金配分内容について

～平成23年度～

5月になるまで学校が再開できなかった地区が多数有り、通信設備の復旧も遅れ、各団体の顧問も多くが自ら被災して生活がままならない状況であったので、各団体の被害状況調査を5月・6月と行い、そのあとに義援金の配分について県吹連臨時役員会で協議しました。

その結果、まず7月2日に各地区理事長を通して以下のように配分しました。

(1) 地区事業補助や地区加盟団体のための補助金 4,400,000円

- ①本吉地区 石巻地区 大崎地区 登米地区 各50万円
- ②仙台宮城野地区 名取地区 各40万円
- ③仙台若林地区 仙南地区 各30万円
- ④それ以外の地区（5地区） 各20万円

すぐに各団体の活動を支えるため、身近な地区吹連へ被害状況に応じて案分した現金をお渡ししました。

(2) 地区楽器別講習会開催補助金 50,000×13地区 650,000円

(3) 地区吹奏楽祭開催補助金 30,000×13地区 390,000円

開催がいつになるか不確定でありましたので、各地区がすぐに開催できるように配分しました。

(4) コンクール地区大会開催補助金 70,000×6地区 420,000円

(5) コンクール県大会職場一般部門開催補助金 120,000円

すぐにコンクールの地区大会を控え、会場が使用不可能になった地区がたくさんありました。代替施設借用など必要となるものとして配分しました。

- (6) 宮城県楽器BANK事業 8,507,914円
①寄贈楽器修理代 5,566,618
②大型楽器購入代 2,779,644
③楽器運送代 161,652

全国から多数寄せられた楽器を調整した後に必要な団体へお配りしました。また、一部集まらなかった大型楽器について新規に購入させていただきました。直接宮城県吹奏楽連盟にお寄せ頂いた義援金はこの事業に使わせて頂きました。

「宮城県楽器BANK」活動状況についてはHPにて公開しておりますのでご覧ください。

- (7) 復興祈念コンサート補助 (8月14日まほろばホールにて) 180,615円
被害の大きかった石巻地区の先生方が中心となって復興コンサートを開催したので一部を補助しました。

- (8) 連盟事業 (宮城県大会) 赤字補填 3,109,501円 (3事業合計)
ア、吹奏楽コンクール 1,775,514円

大きな余震が危惧された吹奏楽コンクール県大会を高校礼拝堂で開催しました。万が一を考えて観客は保護者のみとし、各団体毎に人数を割り当てて無料にしました。4日分でするので収入が例年より大幅に減収となりました。

また、一般入場者を入れずに大会を開催したために、全国初の試みとして「コンクール演奏ライブ配信」を行い、全国どこからでもインターネットでコンクール演奏を鑑賞できるようにいたしました。その後、全国の皆様から「宮城県の団体が一生懸命に演奏しているのが見ることができてとてもよかった、安心した」とご好評を頂きました。

- イ、マーチングコンテスト・全日本小学校バンドフェスティバル 355,972円

9月によりやく復旧した仙台市体育館で開催しました。しかし、参加団体が大幅に減少したために収入が大幅に減少しました。

- ウ、アンサンブルコンテスト 977,015円

例年使用していた「多賀城市民会館」が使用できない状況でしたので、急遽初めて使用することになる「東北大学川内記念会館 萩ホール」で2日間開催しました。慣れない会場で安全に開催するために例年よりも経費がかかりました。また、入場料収入も激減いたしました。

次に10月1日に臨時役員会を開催し、以下の通り決定しました。

- (9) アンサンブルコンテスト地区大会開催を補助する。(各地区10万)
13地区大会に送る。 1,300,000円

- (10) アンサンブルコンテスト県大会参加料を補助する。
117グループ×5000円 585,000円

- (11) 県内加盟団体が10月1日以降に単独や合同で演奏会を開催する場合、ポスターやプログラム、チケットに「響け！復興のハーモニー」のロゴを使用し、「このコンサートを開催するにあたり、全国の皆様から寄せられた義援金の一部を使わせていただきました。」との一文をプログラムに記載すれば、10万円を補助しました。

この事業は平成24年1月28日で50演奏会が決定しました。 5,011,865円

- (12) 6月3日までに「楽器被災状況報告書」を連盟に提出した団体が、10月1日以降に使用する楽譜を購入した場合、1団体最大15万円の補助を行う「楽譜支援事業」を行いました。

対象団体

石巻地区(22団体) 本吉地区(4団体) 登米地区(7団体) 大崎地区(7団体)
名取地区(4団体) 仙台宮城野地区(4団体) 仙南地区(2団体) 仙台若林地区(2団体)

以上52団体を対象にお知らせしたところ、38件の申込があって楽譜を購入しましたのですぐに補助金を送りました。

3,598,010円

- (13) 県内の地区予選で一番開催に支障が出た「吹奏楽コンクール仙台青葉・泉地区大会」が予定していた会場が使用不可能となったため別な会場で行い、大会会計で赤字を出したので補助しました。

131,557円

- (14) 震災時に机上においていた連盟専用パソコン2台が落下しており、起動しなくなりました。

159,261円

～平成24年度～

平成24年4月に開催された東北吹奏楽連盟理事会で「平成24年3月からは、全国から寄せられた義援金の配分を、福島5割、宮城3割、岩手2割と変更する」と決定されました。

- (15) 宮城県楽器BANK事業 2,398,762円

① 寄贈楽器修理代

1,979,844

② 寄贈楽器ケース購入代

155,232

③ 寄贈楽器配布会運営費

263,686

全国から多数寄せられた楽器を調整した後に必要な団体へお配りしました。5月26日の東北高等学校で引き渡し会を行い、たくさんの子供たちに楽器を届けることができました。

「宮城県楽器BANK」活動状況についてはHPにて公開しておりますのでご覧ください。

- (16) 「第二弾 響け復興のハーモニー演奏会」事業を30演奏会対象に行いました。県内加盟団体が単独や合同で演奏会を開催する場合、ポスターやプログラム、チケットに「響け！復興のハーモニー」のロゴを使用し、「このコンサートを開催するにあたり、全国の皆様から寄せられた義援金の一部を使わせていただきました。」との一文をプログラムに記載すれば、10万円を補助しました。

2,906,720円

- (17) 「東京佼成ウィンドオーケストラ仙台公演
兼 宮城県吹奏楽連盟主催課題曲講習会」補助事業

1,475,525円

すばらしい音楽を鑑賞することは、子供たちの情操教育や心の安定のために大変意義があると考え、5月に開催する「東京佼成ウィンドオーケストラ演奏会」入場料のうち500円を補助し、団体ごとにまとめて貸切バスで会場するためのバス代を補助しました。

① 入場料補助(小中高生) 1165人×500円

583,025

② 団体バス代補助(19団体)

892,500

- (18) 「リード購入補助」事業(51団体)

4,612,671円

加盟団体被害調査をもとに、自宅を失った部員がいる団体に、その部員数に応じてリード代を補助しました。詳細は宮城県吹奏楽連盟HPをご覧ください。

- (19) 「被災地バンドサントリーホール公演」事業

213,554円

8月に被災地の中高生を中心としたバンドを結成し、支援してくださった方々への感謝の気持ちを込めてサントリーホールでの演奏会に出演しました。移動費や宿泊費の一部を補助しました。

- (20) 「宮城県ディレクターズバンド本吉地区訪問活動」事業

1,304,620円

県内の吹奏楽指導者で構成される「みやぎスーパーバンド」が本吉地区に赴き、無料で楽器別講習会を開催し、演奏会にも地元の中高生を交えて合同で演奏してきました。

- (21) 「アンガブルンテス地区大会開催補助」事業

1,300,000円

昨年度に引き続き、県内13地区大会の運営を補助しました。

- (22) 「62万石吹奏楽祭(職場一般部門吹奏楽祭)開催補助」事業

1,125,010円

いただいた義援金を子供たちへの支援にむけることが多かったので、大変苦勞して活動を継続している県内の職場一般団体の吹奏楽祭を補助しました。

(23) 石巻地区 本吉地区へ義援金送金 2,500,735円
平成25年の新年度を迎えるに当たり、特に津波被害の大きかったこの地区から、新入部員の減少がこのままでは予想されるので、新入部員の最初の活動のための義援金を二つの地区に届けました。

(24) 県大会赤字補助 1,267,425円
吹奏楽コンクール県大会は赤字が出ない運営ができたが、マーチングとアンサンブルコンテスト県大会にどうしても赤字が発生したので補助を行いました。現在、26年度大会からの黒字を目指して事業内容を検討中です。

4. まとめ

平成25年3月30日の時点で全日本吹奏楽連盟を通して、または直接宮城県吹奏楽連盟へお送りいただいた義援金は¥57,721,825となりました。

そのうち、この2年間で宮城県内の吹奏楽復興のために¥47,668,745を使わせていただきました。

私たちにとりまして今回の災害はあまりにも規模が大きく、2年3ヶ月が経過した現在でも心に受けた衝撃からの立ち直りや復興への歩みはまだ道半ばと痛感しております。そんなゴールの見えない現状の中でも、全国の多くの方々からのご厚情に感謝し、加盟団体と役員一同が手を携えて一步一步前進していく所存です。

今後ともよろしくお願いいたします。